

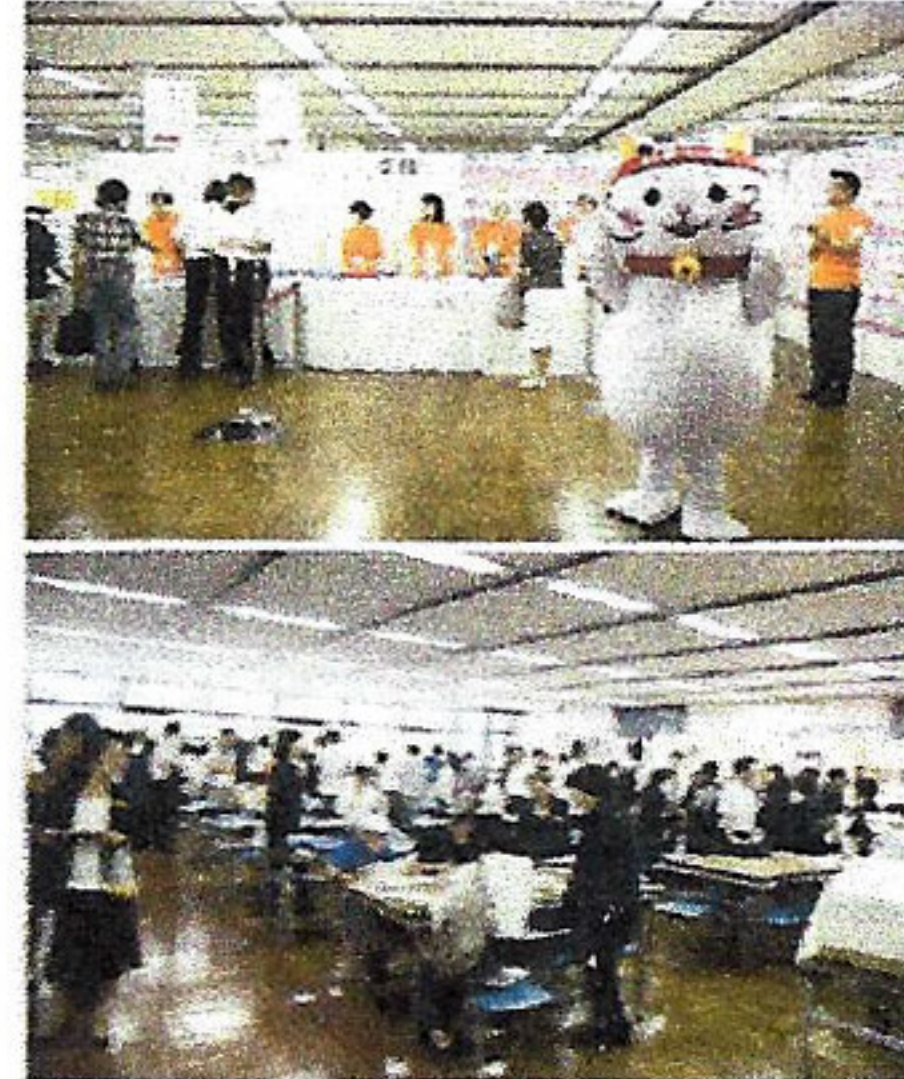
# 話題の「終活カウンセラー」って、どんな人たち？

相続や保険、葬儀や供養、死生観など、終活であつかう分野は多岐にわたります。時に専門知識も必要です。だから迷いや不安があつて当然。そこで、(一社)終活カウンセラー協会の認定する「終活カウンセラー」たちがサポートします。どんな専門家がどんな活動をしているのでしょうか。都内に在住するカウンセラーの横顔を御紹介します。



**一般社団法人 終活カウンセラー協会**  
終活を普及させる目的で設立。「終活カウンセラー」資格を認定し、その育成に尽力している。エンディングノートが書けるような基礎知識を得られる初級資格に始まり、他の人にアドバイスができる上級資格、さらには「終活カウンセラー」を養成できるインストラクター資格へとステップアップが可能。事務局のみなさん(写真左から：川添亮輔さん、代表理事の武藤頼胡さん、田添良朗さん)

東京都品川区旗の台4-2-5 ホープイン旗の台2B  
☎03-6426-8019 <http://shukatsu-csl.jp>



終活カウンセラー協会が主催する「終活フェスタ」には最新の終活情報に触れようとの会場も大盛況となる人気のイベント。さまざまな体験を得ながら終活を具体的にいうきっかけをつかめる。東京・大阪・沖縄で開催されている(写真は2014年8月24日に開催された終活フェスタin東京)



**小松崎 いずみ profile**  
こまつざき いずみ  
埼玉県越谷市南越谷4-7-11  
街かど相談所「暮らしのミカタ」  
※2015年1月オープン  
☎048-989-8228  
(開設準備室・有限会社雅堂)

納棺品「おくり鳩」の産みの親。ご遺族の立場に立って、その喪失感の前で自分がしつかりと寄り添い、役に立てるようになりとうと終活カウンセラー資格を取得。現在では葬儀社が主催するイベントなどで終活の話やエンディングノートの活用方法などを伝えている。「人と人とのコミュニケーション

人と人とのコミュニケーションを大切にすることが終活の基本

小松崎 いずみさん

## 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晩餐)  
貝だくさんのけんちんうどん
- \*人生最後に行きたいところ  
静かな山の中の温泉
- \*あちらに持っていきたいもの  
お花とおくり鳩
- \*あちらで会いたい人  
ご先祖様
- \*生まれ変わったらなりた職業  
駄菓子屋のおばさん

を大切にしながら自分にあつた終活を選択し、よりよい人生を過ごしてほしい」と小松崎さんは終活のポイントをアドバイスする。ご自身でも意欲的にさまざまな講座を受講し、たくさんの方々との交流を大切に、さらに知識を高めている。地元になぞしたカウンセラーをめざし、誰もが気軽に立ち寄り、ゆつくりと落ち着いてさまざまな終活相談ができる空間「暮らしのミカタ」をオープンさせるために準備している。

# 終活を多くの方に伝えることで 超高齢社会をよりよい社会に

松崎 豊さん

機械メーカーに勤めていた時にご自身が体調を崩したことや、両親の介護の経験などで幾度となく転職が訪れたことで、人生を見つめ直し、人生の終焉を考えて生きることの大切さに気づかされた。終活の大切さを多くの人に伝えたいという一途な想いで、自治体や企業などさまざまなシーンでセミナー活動を行っている。「終活

カウンセラーは傾聴(敬聴)によって相談者に満足していただく」という松崎さん。インストラクターとして新たな終活カウンセラーの育成にも力を注ぐ。「終活を世に広めていくことで、単に個人の死への準備にとどめることなく、その人の生き方や超高齢社会のあり方をよりよくしていく契機にしたい」と意欲を燃やす松崎さんの想いがつまった講義は笑いあり、気づきありで人気が高い。



松崎 豊 profile  
まつざき ゆたか  
埼玉県越谷市赤山町 3-189-12  
☎090-8561-7792

## 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晩餐)  
食べ物がムダになるので何も食べない
- \*人生最後に行きたいところ  
ジャングルでそのまま死んで自分を捧げたい
- \*あちらに持っていきたいもの  
「私がこの時代にいたからこそ、少しだけ超高齢社会がよくなった」という想いと「ハチドリ」のしずく」という本
- \*あちらで会いたい人  
父方の祖父母(父が幼い頃に他界されたそうなので命を繋いでくれたことの報告と感謝をしたい)、私のおじいちゃん、おばあちゃん
- \*生まれ変わったらなりたい職業  
終活カウンセラー インストラクター

# 「墓友」の触れ合いの場 笑顔あふれる霊園づくりをめざして

水辺 美樹さん

携わっている霊園の管理運営業務での自身のスキルアップと霊園利用者への貢献を目的に終活カウンセラー上級インストラクターとしての勉強をはじめ、エンディングノートを書くお手伝いや相談者の不安や悩みに耳を傾ける活動を行っている。「人として手本になれるようなカウンセラーでありたいです。主役はあくまでご相談者様なので、

お話に耳を傾ける姿勢が大切だと思います」カウンセラーの話す一言で相談者は元気にもなり、傷ついたりもする。何よりも、相手を思いやる気持ちを水辺さんは大事にしている。人と人との絆を大切に、笑顔と安心をいつも相談者に届けられるように知識や経験を積むことに努力を惜しまない。また、霊園での仕事の方でも、利用者や地域の人が終活の集いの場としてたくさん笑顔があふれる霊園づくりをめざしている。



水辺 美樹 profile  
みずべ みき  
埼玉県桶川市加納 1900  
むさしの・さいたま・とうぶ  
(彩たま若葉園グループ)  
☎048-729-2600  
<http://www.wakabaen.net/>

## 私のミニエンディングノート

- \*人生最後に食べたいもの(最後の晩餐)  
自分が作った肉じゃが
- \*人生最後に行きたいところ  
沖縄のサトウキビ畑
- \*あちらに持っていきたいもの  
バラの花束(この世で1本の花が天国では100本になると聞いたことがあるので)
- \*あちらで会いたい人  
父、ご先祖様、中川 勝彦さん
- \*生まれ変わったらなりたい職業  
芸作家